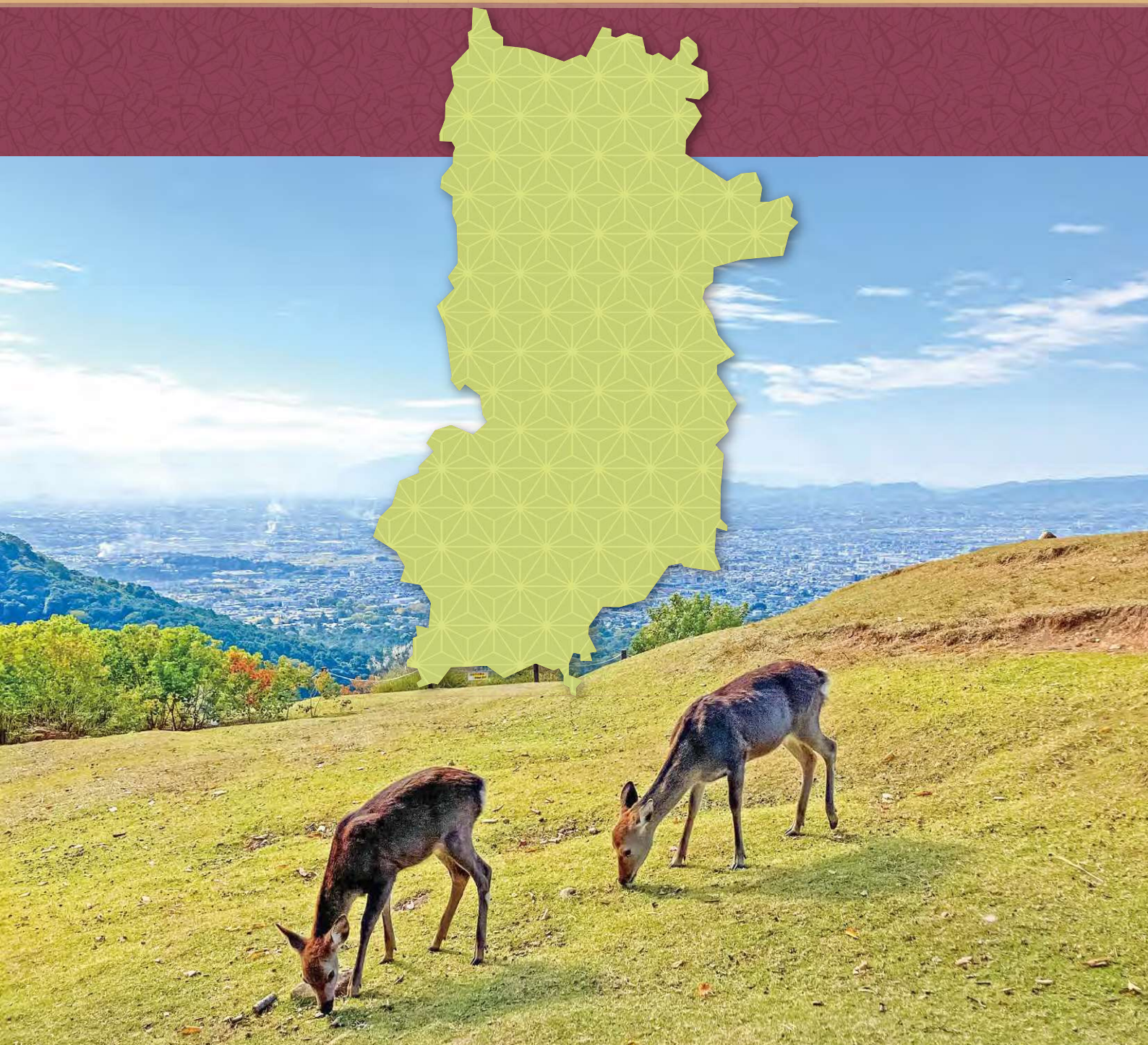


奈良県宿泊施設 支援制度ガイド



令和7年度

奈良県 産業部 産業創造課

CONTENTS

奈良県の概要	1
奈良県の宿泊施設立地概況	2
奈良県の観光・宿泊動向について	3・4
奈良県の宿泊施設向け支援制度	
・奈良県宿泊施設立地促進事業補助金	5・6
・宿泊施設事業者向け制度融資	7・8
・優遇税制	
① 宿泊施設充実のための県税の不均一課税	9
② 過疎地域・半島振興対策実施地域で活用できる 県税の課税免除・不均一課税	10
③ 地域未来投資促進法に基づく優遇税制	11
【参考】地域未来投資促進法に基づく支援制度	12・13
【参考】宿泊施設立地に関する関係機関等 問合せ先	14

奈良県の概要

紀伊半島の中央部に位置する奈良県。
面積や人口は全国の約1/100で、歴史・文化・
自然に恵まれた良好な環境が広がっています。

【面積】3,690.94km²

資料：国土交通省国土地理院

【人口】128万5,094人（令和6年10月1日現在）

資料：奈良県政策推進課「推計人口調査」より

【気象】北部▷内陸性気候

概ね雨は少なめ

夏／蒸し暑い 冬／底冷えが厳しい

南部▷山岳性気候

夏／雨が極めて多く、時には局地豪雨が起る

冬／厳しい冬山の様相を呈し、積雪も深い

【経済規模】3兆7,121億円（経済成長率：+2.4%）

資料：奈良県政策推進課「令和3年度奈良県県民経済計算
（令和6年7月5日公表）」

【県民所得】254万9千円（1人当たり）

資料：奈良県政策推進課「令和3年度奈良県県民経済計算
（令和6年7月5日公表）」



出典：奈良県政策推進課「市町村別推計人口（令和6年10月1日公表）」

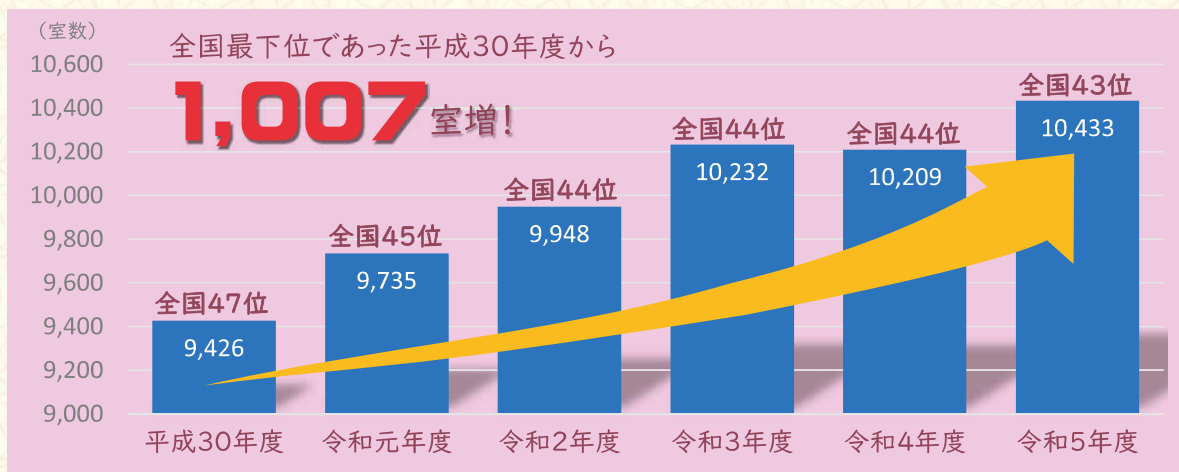
奈良県の宿泊施設立地概況

奈良県では、令和12年度までに観光消費額4,200億円（令和元年：1,807億円）、延べ宿泊者数500万人（令和元年：273万人）を達成することを目標に掲げております。

近年、ラグジュアリーホテルやバラエティ豊かな宿泊施設の開業が相次ぐ中、令和3年度から宿泊施設に対する補助金制度を新設するなど、宿泊施設立地先として奈良県を選んでいただけるよう様々な取り組みを行っています。

【奈良県の宿泊施設客室数の推移】

資料：厚生労働省「衛生行政報告例」より抜粋



【奈良県の主な宿泊施設の開業動向】 ※客室数30室以上の宿泊施設を掲載

- 【平成30年】 カンデオホテルズ奈良橿原
グランヴィリオホテル奈良和蔵
セトレならまち
- 【令和元年】 奈良宇陀温泉郷 保養センター美榛苑
和空法隆寺
- 【令和2年】 JWマリオット・ホテル奈良
ふふ、奈良
Hotel Wisteria NARA
変なホテル 奈良
ホテルルートイン桜井駅前
東横INN奈良王寺駅南口
- 【令和3年】 ダイワロイネットホテル奈良
ホテル天平ならまち
ベーカリーホテル シャトードール
MIROKU 奈良 by THE SHARE HOTELS
アパホテル<近鉄奈良駅前>
- 【令和4年】 亀の井ホテル 奈良
いろはグランホテル近鉄奈良駅前
フェアフィールド・バイ・マリオット・奈良天理山の辺の道
ホテル奈良さくらの郷
亀の井ホテル 大和平群
- 【令和5年】 紫翠 ラグジュアリーコレクションホテル 奈良
東横INN天理駅前
- 【令和6年】 ノボテル奈良
グランドメルキュール奈良橿原
- 【今後、開業を予定している宿泊施設】
星のや奈良監獄
ホテル 寧 奈良



ふふ、奈良



ホテル奈良さくらの郷



JWマリオット・ホテル奈良



フェアフィールド・バイ・マリオット・奈良天理山の辺の道



ダイワロイネットホテル奈良



紫翠 ラグジュアリーコレクションホテル 奈良



MIROKU 奈良 by THE SHARE HOTELS



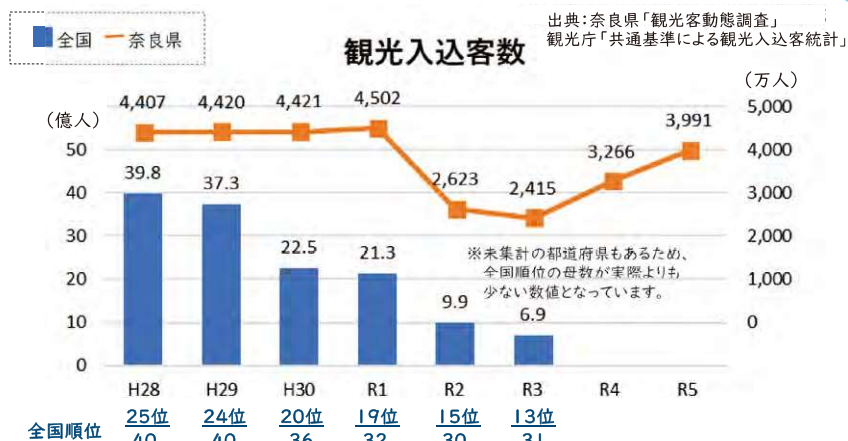
ノボテル奈良

奈良県の観光・宿泊動向について

観光客数は、全国上位

観光客数は全国19位
(令和元年)

観光入込客数(日帰り+宿泊観光客数
(延べ数))は、コロナ禍前まで年々増加。
令和5年の奈良県への観光入込客数は
3,991万で、全国上位となっている。



外国人訪問者数は
全国5位 (令和元年)

令和元年の外国人入込客数は350万人(全国5位)とトップクラス。
※2位 大阪、4位京都
令和5年も外国人訪問者は急激に回復。



宿泊者数は、全国下位であるが増加傾向

令和5年の延べ宿泊者数は、265万人(全国44位)。観光入込客数と大きな乖離があるものの、令和5年時点でコロナ禍前の水準に回復。

資料: 観光庁「宿泊旅行統計調査」より



令和5年の外国人延べ宿泊者数は、33.4万人(全国26位)。外国人訪問者数と大きな乖離があるものの、令和5年は急激に回復している。

資料: 観光庁「宿泊旅行統計調査」より



宿泊施設数・客室数は、全国下位であるが増加傾向

出典：厚生労働省「令和5年度衛生行政報告例」

【ホテル・旅館客室数】

全国47位 ⇒ **全国43位**
(令和元年) (令和5年)

ホテル・旅館の施設数・客室数は全国下位ではあるものの、ここ数年外資系ホテルの立地も進んでおり増加傾向にある。

《参考》

平成30年以降に開業した、客室数が30室以上の旅館・ホテル

奈良県内: **25件** (内奈良市は15件)

【宿泊施設数の順位(令和5年)】

単位:施設

順位	都道府県	ホテル・旅館
1	東京都	4,422
2	沖縄県	3,339
3	北海道	2,901
4	長野県	2,578
5	静岡県	2,538
6	新潟県	1,917
7	大阪府	1,576
8	兵庫県	1,430
9	福島県	1,422
10	栃木県	1,386
≈	≈	
38	徳島県	438
39	愛媛県	420
40	奈良県	417
41	宮崎県	408
42	富山県	380
43	島根県	371
44	高知県	337
45	佐賀県	331
46	香川県	328
47	鳥取県	326

【客室数の順位(令和5年)】

単位:室

順位	都道府県	ホテル・旅館
1	東京都	208,699
2	大阪府	123,056
3	北海道	121,688
4	愛知県	68,479
5	静岡県	68,149
6	沖縄県	66,452
7	福岡県	64,112
8	長野県	63,761
9	千葉県	61,462
10	神奈川県	58,730
≈	≈	
38	秋田県	15,366
39	滋賀県	15,243
40	富山県	15,071
41	香川県	13,677
42	島根県	10,953
43	奈良県	10,433
44	高知県	10,156
45	鳥取県	9,718
46	徳島県	9,697
47	佐賀県	9,442

観光消費額は、全国平均を大きく下回っている

出典：奈良県「観光客動態調査」

1人あたり観光消費額は、例年、全国平均と大きな開きがある。(令和3年1人あたりの観光消費額:奈良県5,308円、全国平均9,931円)観光消費額(宿泊費・土産代・飲食費)の増加のため、滞在型観光促進を図る。

【参考】宿泊客・日帰り客の観光消費額(1人あたり)
奈良県における6ヶ年平均の内訳

単位:円

	宿泊客		日帰り客	
	6ヶ年平均 (H28~R3)	割合	6ヶ年平均 (H28~R3)	割合
合計	24,767	—	4,223	—
交通費	1,510	6.1%	621	14.7%
宿泊費	12,958	52.3%	—	—
土産代	3,605	14.6%	1,156	27.4%
飲食費	4,968	20.1%	1,344	31.8%
入場料	1,316	5.3%	369	8.7%
その他	411	1.7%	732	17.3%

【観光消費額】

単位:百万円

		合計(平均)	宿泊客	日帰り客
奈良県	令和3年	97,261	39,298	57,963
	令和2年	82,603	33,064	49,539
	対前年比	117.1%	118.9%	117.0%
全国平均	令和3年	169,167	92,928	76,239
	令和2年	221,354	123,683	97,670
	対前年比	-23.6%	-24.9%	-21.9%

【観光消費額(1人あたり)】

単位:円

		合計(平均)	宿泊客	日帰り客
奈良県	令和3年	5,308	23,394	3,483
	令和2年	4,910	23,211	3,217
	対前年比	108.1%	100.8%	108.3%
全国平均	令和3年	9,931	27,532	5,581
	令和2年	10,575	29,216	5,849
	対前年比	-6.1%	-5.8%	-4.6%